

「京都魔界巡礼団」同行企画

# 魔界って 第7界 ほん魔界!?

京の魔界を巡礼し、そのナゾに迫る「京都魔界巡礼団」。そのオカルト・古代史マニア集団が「京都チャンネル」に乗り込み魔界紀行番組を作ったと聞いて、奇々怪々興味津々と参加志願をした本誌編集部員達。さて魔界の真の姿とは…



中山団長

南園団長

## 「京都魔界巡礼団」

レギュラー・団員

小嶋伸一 (ディレクター)・佐々木昇 (アシスタントディレクター)  
丘真奈美 (放送作家・超古代史ジャーナリスト)・加納達 (京都の史跡を訪ねる会長)

巡礼団の前途にまた、何か! 占いの祖、元三慈恵大師良源の魔除けパワー!



「元三大師百籤」

### 神楽岡編

安部晴明一族ゆかりの真如堂は、優れた霊力を持つ仏や神が棲む聖地だ。ここでまたもや、巡礼団に忍び寄る魔界からの声。その予兆が、加納名譽団員が引いたおみくじ。これが見事、凶。それを見て、気の毒に思った執事の本郷氏。寺に残る古い「元三大師百籤」というおみくじの原型を見せて下さったが、そこで又異音が…

## 発見! 占いの祖 元三慈恵大師良源の魔除けパワー!



真如堂境内「元三大師堂」



真如堂「本堂」

本郷真頼 / 真正極楽寺真如堂執事

全国の神社仏閣にある「おみくじ」。その祖こそが、元三慈恵大師良源 (ガンザンジケイダイシリョウゲン)。彼は、比叡山第18世天台座主であり、日本天台宗中興の祖となった。霊力に秀でた大師には靈験談が多く、角大師 (ツノダイシ)・降魔大師 (ゴウマダイシ)と呼ばれ、念仏三昧の中で鬼に変身した姿の御札は魔除けとなる。そんな大師が観音様から授かったのが「おみくじ」。境内には、「大師」と「晴明の持念仏・不動明王」が一緒に奉られていたお堂があった。

## 「秘伝吐積尼天を奉る 聖なる神楽岡! 異音は魔界から?」



法隆寺境内「茶積尼天」鳥居



法隆寺境内「茶積尼天」鳥居

丘真奈美 / 巡礼団団員

本郷氏に、真如堂の古い境内地図を説明して頂いた時、凄く秘伝を奉るお堂の名前を発見した。吐積尼天 (ダキニテン) である。梵名をタキニーニと呼ぶチベットの密教の仏で、人間の血肉を食べていたが、釈尊が屍肉のみを食うかわりに人の死を予知する能力を与えた。命と引き換えに名譽と権力を授けるとも言われ、徳川家康も信仰したという。そんな話の中で、例の異音が発生! その音はもしかして、魔界から?

■魔界への入口は… ■ 真正極楽寺 真如堂  
京都市左京区浄土寺真如町82

魔界TVシリーズは、京都チャンネル (スカイパーフェクTV ch726) で放映中

学生は学生に、社会人は学生にならざる関係者以外(一般客)でも関係者待遇

お酒と上手く付き合える 新発想に「Oh、パンサイ(!?)」



「麻酔問わず、食べ放題。でも豪華飲慕食は、胃腸持参でも控え目に」と清水店長

MKボウル上賀茂 MKバイキングレストラン上賀茂編

■京都市北区上賀茂中河原町1-1  
☎075-721-9304  
●10:30~14:00、16:30~20:00/無休

大海原を股に掛け…つてのはバイキング。ここは海モノじゃない、言わば食べ放題に掛かるバイキング。26年前、社食として旗揚げするが、次年には近隣住民にもバイキング浸透を一般開放した「MKバイキングレストラン上賀茂」。でも、開店以来バイキング形式には変更ないだろうと高を括ってはいれば、ふと見た隣店のタクシー乗務員のトレイに新「食べ方」発想を目撃! 何と「おばんざい」を酒肴に駆け付け一杯も可能な使い方。そのお袋の味を迎える酒は、蝋燭を手に手に製造された中国産「青島ビール」。いつしか和も洋も中も股に掛けた居酒屋っぷりな別の顔を持っていた。「MK食堂」華術師は、足繁く通う地元民と乗務員だけの知る人ぞ知るスタンダードなかもよ。



京都のINGを CHECK IT OUT!!

# ロコミ情報カタログ

バイキング大人500円 青島ビール300円 かわちやのふくめ煮、なすの揚げ煮、きんぴらごぼう和え、ミニハンバーグ、コロッセ、唐揚げ、サラダ、スープ類、総額と約40種のラインナップから選びたい放題。プラス150円で飲み放題のドリンクバーも利用可



## I am a みやげマニア!!

100年後にも残したい 京都おみやげファイル

植物性タンパク質、ビタミン、ミネラル、食物繊維を含む良質の原料が配合されている「豆奴妓茶」は130円。現在確認されている入手ルートは仁和寺の境内で夕方まで営業している観音光店のみ

### ビターズマイルみやげ編 豆奴妓茶(まめやつこちゃん)

長丹波黒豆と美山名水仕込み 「まめやつこちゃん」現る

並み居る京都限定フードの間を縫って怪しいオーラを放つドリンク「豆奴妓茶」が今回事のビターズマイルやげ。採集地は仁和寺の境内に並ぶ地場産色濃厚な大豆の一角である。地理を無視して山脈化された京都五山と、自信あり気に振り廻る異様に足の長い舞妓が描かれた黒い缶には、「豆奴妓茶」を無理矢理「まめやつこちゃん」と読ませる暴挙とも

「言えるネーミング術。京都の舞妓に「奴(やつこ)」は付かないはず…などなど、様々な常識は「豆奴妓」の前では通用しない。「どっこし」さわやか、試飲したスツップからは「納豆の味がする」、「香ばしいきな粉味」と微妙な感想。身も外見も規定値では測れないキング・オブ・ローカルなお茶!

## 太夫とは? 第一幕「こったい」語源編

こったいの言葉のルーツはお公家なんです。

嵯原司のこったい花語 Tsukasa

「こったい」この慣れへん言葉は、遠い昔の花街(かがい)を思い起こす数少ない「花街言葉」です。こったいは太夫の別称で、もう使こうでない様に思われがちですが、いえ未だに「〇〇こったい」とか呼び合ってます。語源は角倉了以のご子孫。歴史学者の先生に教えてもらったんです。「こちの太夫」から変わっていったもので、「こち」言うのはお公家はんの言葉で「内、中」で言う意味やそう。昔太夫のお客は帝やお公家はんやつたし、御所に入り出を許されていた太夫は公家言葉を話していたと聞いてます。島原の古〜い俗曲(※注1)にも「なます言葉」(※注2)として名残はあってたりするのですね。「内・中」は単に「外」と比較してのだけや無で、「うちなる者・秘めたる者」と言う意味の他、「奥ゆかしさ」も指してんのです。「元氣印の司」にとっては少々耳が痛いことですけど。

注1. 三味線伴奏の小曲の内の大衆的な歌謡曲。都々逸・さのさ・大津絵などが有名。  
注2. 「なます言葉」から転じた助動詞。近世後期の遊里の女性語

司事務所 <http://kyoto.cool.ne.jp/tukasa21>